



さんぼし

唐津市立西唐津小学校
学校だより 第 177号
令和8年 3月12日(木)
文責 校長 古川 雅



学校 HP

15年が過ぎました

テレビや新聞のニュースなどで報道されていますが、昨日は「東日本大震災」が発生した日でした。あれから15年過ぎました。「もう15年」なのか「まだ15年」なのか、人の感じ方は様々ですが、たくさん大切な人が亡くなってしまったことは事実です。

小学生の子どもたちにとっては、完全に生まれる前の出来事となってしまいました。この災害を忘れないために、西唐津小学校でも発生時間の14時46分に1分間の黙とうを行いました。子どもたちにどれほど伝わっているかは心配ですが、伝え続けていきたいと思えます。

ご家庭でも、安全教育の観点からも避難するとき、避難してからの話題や、命の大切さ、身近な大切な人への感謝の思いなどについてお話しいただければと思います。

水曜日の子どもたちの様子から



卒業式に参加する3～5年の在校生の合同練習も始まりました。まずは、自分たちの座る位置を確認した後、早速練習に入りました。

在校生はじっとしている時間のほうが多く、退屈さを感じるかもしれませんが、6年生の最後の授業を盛り上げるためにも、しっかりと取り組んでほしいと思えます。



2年生は教室で秘密の活動中でした。内容は秘密ということで、紹介させてもらうこととなりました。

子どもは「秘密」「内緒」が大好きですね。秘密の活動に一生懸命に取り組んでいました。



6年1組は、これまで学習で書いてきたプリント類をまとめていました。最高学年の6年生なので、たくさんのプリント類がありました。

一枚一枚並べて整理して貼り付けていました。読み返しながら活動する子どももいて、なかなか進まないようでした。

